

西日本建物管理株式会社

2013年度

環境活動レポート

活動期間 2013年06月01日～2014年05月31日



発行日：2014年9月1日

【目次】

① 環境方針	… 2
② 事業概要	… 3
③ 環境目標(中・長期を含む)	… 4
(1) CO ₂ 排出量 (購入電力・自動車燃料)	
(2) 排水量 (下水道排水量)	
(3) 廃棄物発生量 (焼却・埋立・資源廃棄物)	
(4) 化学物質発生量 (洗剤・剥離剤・WAX)	
④ 環境負荷の実績	… 4
⑤ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	… 5
(1) CO ₂ 排出量 (購入電力・自動車燃料)	
(2) 排水量 (下水道排水量)	
(3) 廃棄物発生量 (焼却・埋立・資源廃棄物)	
(4) 化学物質発生量 (洗剤・剥離剤・WAX)	
(5) グリーン購入	
⑥ 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無	… 6
⑦ 代表者による全体評価と見直しの結果	… 6～7
⑧ その他の活動	… 7～8
⑨ あとがき	… 8

① 環境方針

☆ 基本理念

「 お客様の幸せが私たちの幸せです 」

1. 私たちは、お客様と共に地球環境を大切にします
2. 私たちは、お客様と共に地球資源を大切にします
3. 私たちは、お客様と共に生活環境を守る努力をします

☆ 行動指針

私たちは、温暖な気候に恵まれ、自然豊かな岡山の地に育てられました。本社及び作業所の環境負荷の削減に努め、この地域の一員として未来が見える暮らしを支え、子供たちの将来のために私たちができる環境活動を全社員で取り組む決意をしました。

- (1) 電気・水道の省エネを推進します。
- (2) コピー用紙の使用量削減に取り組めます。
- (3) 自動車燃料の消費量削減をはかります。
- (4) 廃棄物の削減とリサイクルに取り組めます。
- (5) お客様と共に環境負荷削減に努めます。
- (6) グリーン購入に取り組めます。
- (7) 環境関連法規等の遵守を誓約します。
- (8) 全社員の意識向上に努めます。

制定日 2003年 11月 11日

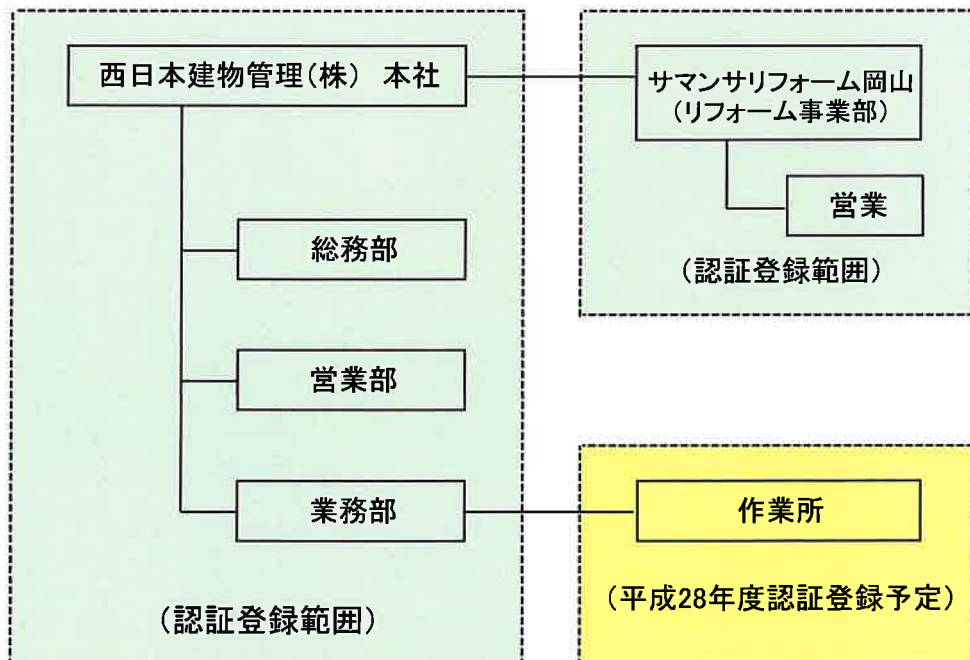
改定日 2011年 06月 01日

西日本建物管理株式会社

代表取締役 **林 茂樹**

② 事業概要（認証登録範囲）

- (1) 事業所名及び代表者氏名
西日本建物管理株式会社 代表取締役 林 茂樹
- (2) 所在地 【本社】
岡山市北区内山下2丁目11番18号 共済会館ビル5階
- (3) 事業所規模
社員数 214名 ※平成26年9月1日現在
[本社 15名 ・ サマンサ 2名 ・ 作業所 198名]
- (4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 石川 光宣(業務部)
担当者 河田 真子(業務部)
TEL (086)232-0844 FAX (086)232-0983
- (5) 事業内容
清掃管理・設備管理・環境測定管理・貯水槽給水設備管理
防虫防除管理・サービス管理・リフォーム事業(営業)



- ☆ 認証・登録の拡大に向けて
それぞれの作業所での活動・教育・訓練を順次展開し、
認証・登録の拡大に取り組んでいきます。

③ 環境目標

《 表-1 》 ☆ 目標値は、全環境負荷に対して前年度(24年度)比各1%削減
(※グリーン購入は、前年度比1%増)

項 目		24年度実績	25年度目標値
C O 2 排 出 量	総排出量	46,976.2 CO ₂ -kg/年	46,506.4 CO ₂ -kg/年
	1人当たり	2,727.6 CO ₂ -kg/年	2,700.3 CO ₂ -kg/年
	(内 訳) ※CO ₂ 係数(購入電力…0.555 / 自動車燃料…ガソリン2.32・軽油2.62)		
	購入電力	7,286.7 CO ₂ -kg/年	7,213.8 CO ₂ -kg/年
	1人当たり	423.2 CO ₂ -kg/年	419.0 CO ₂ -kg/年
	自動車燃料	39,689.5 CO ₂ -kg/年	39,292.6CO ₂ -kg/年
1人当たり	2304.4 CO ₂ -kg/年	2281.4 CO ₂ -kg/年	
排水量		155.0 m ³	153.5 m ³
1人当たり		9.1 m ³	9.0 m ³
廃棄物発生量		774.2 kg	766.5 kg
1人当たり		44.6 kg	44.2 kg
化学物質発生量		2,174.0 ℓ	2,152.3 ℓ
※ (洗剤・剥離剤・WAX)の発生量。…PRTR法該当品の取り扱いは有りません。			
グリーン購入		68,350 円	69,034 円

☆ 環境施策の将来構想

- (1) 清掃方法の変更(ドライ清掃化比率UP)に伴う汚水の削減
パーフェクトドライシステムの技術・判断力を身につけ、床洗浄の回数を減らし汚水及び化学物質発生量(洗剤・剥離剤・WAX)の削減に繋げたい。

④ 環境負荷の実績 (取りまとめ表) 活動期間 平成25年6月1日～平成26年5月31日

《 表-2 》 ☆ 目標値は、全環境負荷に対して前年度(24年度)比各1%削減
(※グリーン購入は、前年度比1%増)

環境への負荷		単位	25年度目標	25年度実績	達成率
温室効果ガス排出量	二酸化炭素総量	CO ₂ -kg	46,506.4	45,141.5	103%
	1人当たり	CO ₂ -kg	2,700.3	2,562.9	105%
	(内 訳) ※CO ₂ 係数(購入電力…0.555 / 自動車燃料…ガソリン2.32・軽油2.62)				
	購入電力総量	CO ₂ -kg	7,213.8	7,707.8	94%
	1人当たり	CO ₂ -kg	419.0	437.4	96%
	自動車燃料総量	CO ₂ -kg	39,292.6	38,433.0	102%
1人当たり	CO ₂ -kg	2,281.4	2,182.3	105%	
排水量	下水道総量	m ³	153.5	161.0	95%
	1人当たり	m ³	9.0	9.1	99%
廃棄物発生量	一般廃棄物総量	kg	766.5	524.5	146%
	1人当たり	kg	44.2	29.7	149%
化学物質発生量	(洗剤・剥離剤・WAX)	ℓ	2,152.3	1,740.0	124%
グリーン購入	購入金額	円	69,034	43,981	64%

⑤ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) CO₂排出量 《表-2参照》

【 取組み結果 】

目標に対して、総排出量約3%の削減結果を上げることが出来ました。

- ① 購入電力…7月・1月の使用量が大幅な増となり、達成率は94%となりました。
- ② 自動車燃料…新車3台購入。台数増にもかかわらず、達成率は約102%。

【次年度の取組み】

① 購入電力

室温の管理表を記録(3回/日)し、事務所内の空調管理を実施していく。
電力使用ピーク時(最大電力使用量実績)に、電力の使用量を極力抑えていく。

② 自動車燃料

社有車(高年式・低走行距離)を1台購入予定。低燃費車の燃費向上効果でさらに自動車燃料の低減を図る。稼働率の高い車は、高年式(低燃費)に移行して効率の良い車両運行に努める。

(2) 排水量

【 取組み結果 】

洗濯機を買換え(節電型)。日常清掃の応援が多発、応援先(洗濯機無し)の洗濯物持帰りによる洗濯回数の増加等により、達成率は95%でした。

【次年度の取組み】

業務の作業量の増減が、直接影響するため難しい面も有るが、手動設定を効率よく活用し1回当たりの洗濯水使用量の削減に努める。

(3) 廃棄物発生量

【 取組み結果 】

目標値に対して146%の達成率となりました。

焼却・埋立廃棄物は、前年とほぼ同量。資源廃棄物が大幅減少。

【次年度の取組み】

前年度に引き続き、「3R」の徹底で廃棄物の削減を図り、資源廃棄物のリサイクル率向上に努める。「エコキャップ活動」も同時に展開する。

(4) 化学物質発生量

☆ 化学物質発生量の活動について

当社においては、「PRTR法」に該当する化学物質の使用は有りませんが清掃管理業務等で発生する大量の汚水が、環境に影響を及ぼす恐れがあるため、「洗剤・剥離剤・WAX」の購入量削減活動に取り組んでいます。

【 取組み結果 】

ドライ清掃比率UP等により、洗剤・WAX・剥離剤の発生量を削減でき、目標値に対し約24%削減することができました。

【次年度の取組み】

さらなる無駄のない購入・使用を行ない、発生量の削減に努める。

(5) グリーン購入

【 取組み結果 】

目標値に対して64%の達成率となりました。無駄なものの購入を控えた為。

【次年度の取組み】

グリーン購入対象品の購入件数の増加に努める。

⑥ 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無

《表-3》

内 容	環境関連法規	関係省庁・機関	指摘
①環境測定管理業務	建築物衛生法	厚生労働省・岡山県生活衛生課	無
②貯水槽給水設備管理業務			
③防虫防除管理業務			
④環境改善業務			
④設備管理業務	消防法	総務省・各管轄消防署	無
⑤廃棄物	廃掃法	環境省・岡山市環境局	無
⑥グリーン購入	グリーン購入法	環境省・岡山県循環型社会推進課	無

◎ 違反事項・関係機関からの指摘事項・提訴等 … 0件 《表-3参照》

(過去5年間の違反・指摘事項及び提訴等は有りません。)

⑦ 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境管理責任者から代表者への報告

項 目	内 容
報 告 日	① 2014年 8月 25日 EA21システム運用状況全般について報告
使用した資料	① 環境方針 ② 廃棄物・エネルギー・水道使用量の削減施策 ③ 廃棄物・エネルギー・水道使用量使用グラフ ④ 教育・訓練実施及び資格取得計画 ⑤ 法令要求事項一覧表 ⑥ その他関連資料

2. 代表者による評価・見直しと指示

項目	内容		
EAシステム全体の評価	社員一人一人が環境への意識を持ち、自分出来る事から取り組む事が大切です。エコアクション通信により全社員の意識向上を目指しましょう。		
システム変更の必要性	項目	必要性	有の場合の具体的指示
	環境方針	有	無
	環境目標	有	無
	環境活動計画	有	無
EA21システム	有	無	
見直し指示の根拠	EA21啓蒙活動の「エコアクション通信」の内容をより理解しやすいものとして、全社員の意識を高めて下さい。		

3. 環境管理責任者の処置

項目	内容
代表者の指示に対する 是正処置の状況	<p>① エコアクション通信を作成・発行するにあたり、「社員がどのような情報・内容を求めているか?」、また、現在の発行頻度でも、意識の向上を求めることができるのかを事務局として、来期の活動課題として確認。</p> <p>② 26年度の「エコアクション通信」の発行は、2ヶ月に1回とする。</p>

⑧ その他の活動

☆ コピー用紙購入量

紙資源の節約と廃棄物の削減意識の向上を図る一環として、事務所に於ける「コピー用紙の購入量削減活動」に取り組んでいます。

※ 枚数はA4サイズ換算での表示となります

項目	24年度実績	25年度実績
コピー用紙購入量	58,875 枚	61,550 枚
1人当たり	3,410.9 枚	3,519.4 枚

【取り組み結果】

24年度と比較して総購入量は約3パーセント程増加となりました。

リフォーム事業部(営業)の購入量が前年より約30%増加しました。

【次年度の取り組み】

パソコン上等データで済むものは印刷しないようにする。(ペーパーレス化)

作業の報告書など、コピー用紙が必要な場面は今後増加すると思われるので引き続き、購入量の現状維持に努めたい。

☆ エコキャップ活動

社員の意識の向上を図る一環として、各作業所に於いてペットボトルキャップを収集する「エコキャップ活動」を展開し、廃棄物削減・資源の有効活用に取り組んでいます。また、収集・慈善団体への送付等につきましてはお客様にも協力していただき、環境方針でもある「お客様と共に環境負荷削減に努めます」を実践しています。

☆ エコアクション通信

社員への啓蒙活動として、「エコアクション通信」を発行(1回/2ヶ月)
《 主な記載内容(テーマ) 》

- ◎ 地元自治体の環境・エコ活動取り組み(HP・広報誌など活用)
- ◎ 季節ごとの環境・エコの取り組みについて
- ◎ 社員からの要望によるもの

⑨ あとがき

25年度は、新しく認証登録範囲の拡大として、リフォーム事業部(営業)の「サマンサリフォーム岡山」を加えました。全体の評価としましては、いくつかの項目が未達成となりました。異常気象や昨今の経済情勢等非常に厳しい一年では有りましたが、業務が忙しい中皆さんには大変協力して頂き良い活動に取り組むことができました。

今後の活動については、円安や中東情勢による化石燃料の高騰や、電力不足による電気代の値上げ等、コスト管理の為の削減を強いられそうです。とはいえ、必要なものには投資し、不要なものは削減するという、あくまでも「無理のない活動」を基本にして「EA21」の活動に取り組んでいきたいと思っております。

2014年9月1日
EA21事務局
石川 光宣
河田 真子

